

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101

## 陽風語録

「してやった」から不満がおこる  
「していただいたから」感謝が生まれる



9月2日 金沢市消防技術競技大会  
第三位及び敢闘賞受賞  
(県営まめだ簡易グラウンドにて)

## 学ばざれば便ち老いて衰う

理事長 奥

清

多くの方が今日も陽風園を利用して下さいます。有難い事です。その方々を介護する職員の数が五百二十余名、よく勤めよく働く姿を日々見詰めて頼もしく大きな期待を寄せています。それだけに、これからの人生に敢て一言励ましの言葉をおくります。

今後の人生は楽しい事ばかりではありません。幸せな事ばかりとも限りません。むしろ苦しい事や厳しい事の方が多いかもしれません。でも怯んではなりません。悩んでも解決できません。それに耐え忍んでこそ人生の味を濃くし人間的に大きく成長できるのです。

そんな経験の一つ二つと積み重ねるうちに、相手の立場を考え心の痛みを読み取れる人に成長するのです。辛くとも厳しい勤めに取って挑戦する事により、日々の歩みを大切にし自分に厳しさを求め、相手の過ちは許しても自分の過ちは許さず、自分の苦しみには耐えても相手の苦しみは見逃さない。そんな人材へと伸びていくのです。

ここで、皆さんの大成を念じ、中国 南宋の時代の大学者 朱熹(字は元晦)の「勸学の文」をおくりします。心に宿して戒めの言葉とし、各自の人格形成に活かし、崇高な福祉の使者として努力を重ねて欲しいと期待しています。

謂う勿れ 今日学ばずとも 而も来日有り  
謂う勿れ 今年学ばずとも 而も来年有り  
日月逝きぬ 歳 我と延びず  
嗚呼老いぬ 是 誰の愆ぞや

朱熹の勸学の文です。前半は怠惰を戒める言葉であり後半は悔恨の言葉です。日月は過ぎ去り歳は私を待っていてはくれなかった。ああ空しく老いてしまったのは一体誰の愆であろうか? 全て己の怠慢の罪である。と、大学者朱熹にしてこの悔いがあることを思うと、われわれ凡人以って銘すべき言葉です。



## 生活保護受給者増が止まらない

三陽ホーム施設長 吉川 公望

生活保護制度の目的は、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに自立の助長を図ることです。自立助長推進のため、平成17年度から自立支援プログラムが導入され、各自治体においては、受給者の状況に応じて、経済的自立、社会生活自立、日常生活自立を目指すためのプログラムを策定・実施し、被保護者の自立支援に取り組み、一定の成果をあげてきました。

しかし、平成20年後半からの世界的不景気を機に、生活保護受給者が増え続け、福祉事務所のケースワーカー（CW）の負担が増えて受給者の自立を助けられないため、生活保護から脱出できないケースも多く見られます。これに対し、様々な取り組みがみられます。

釧路市では、基幹産業が衰退し、有効求人倍率は0・32。千世帯当たりの生活保護受給世帯は50世帯で、全国平均の3倍。CW一人当たり約80世帯弱を担当しています。働ける人も長期間の失業状態の中で就労意欲が

落ち、就労先は簡単に見つからない。そこで週1回、4時間程度働く『中間的就労』で、社会的な関係を取り戻すよう努力しています。しかし、数少ない受け入れ者は「多少の効果はあるが、本格的に受け入れる余力はない。」という。景気低迷で雇用が増えず、完全自立は難しい。福祉事務所主幹は「今の景気で雇用を前提とするのは無理です。中間的就労が働き方の一つになるかもしれない。しかし、受給者が働く意欲を出すのは簡単でなく、いかに居場所を作り、生活基盤を支えるかが問われています。『外に出られるなら働けるはず』と考えるのは役所的発想です。」という。国のモデル事業で年間千三百萬円の事業費補助がもらえたが、受給世帯は増え続けるなど悩みが多いとのこと。一方、受給世帯は子の教育を考える余裕がなく、子を育てる環境にない家庭もあり、高校に進学して生活していける学力を身につけるためにボランティア等が勉強会を行うなど、貧困の悪循環対

策として、受給世帯の子の自立を図る長期的な取り組みをする所もあります。

あるCWは「自立援助は2割。やりたいけどできない。」という。CWひとりの担当受給世帯数は、市区町村の福祉事務所80、都道府県の事務所65が法律上の標準となっていますが、1000世帯越えの福祉事務所があるとも聞く。こんな折、行政が財政難を理由に給付申請者を門前払いする「水際作戦」や、狭い部屋に受給者を押し込み、生活保護の住宅扶助費分の利用料を取る『囲い屋』と呼ばれる貧困ビジネスが話題になりました。

また、近年日本の貧困構造が変わり、生活保護世帯の半分が高齢者です。高齢者の生活費である年金の受給額は平均5万円前後と少なく、生活が困難。今後さらに高齢化が進むので、益々増加が予想される他、母子家庭が増えたことや、ニート世代・50代のリストラ世代の存在などがこれに続きます。

生活保護施設では退院促進等の受け皿として居宅での生活が困難な精神障害者の受け入れや、障害別に機能分化された施設には適応していない重複障害者を受け入れるなどの役割を担って

きているほか、近年は社会生活に対応できないため、地域での生活が難しく、施設に入所せざるを得ない者（ホームレス、アルコール・薬物依存、DV被害者等）の受け皿としても機能しています。また、居宅生活が一時的に困難に陥った場合の『ショートステイ事業』を行う地域もあります。

今年4月、厚労省は現在の生活保護受給者数をはるかに超える229万世帯が生活保護水準以下の所得で生活していると推測し、7月20日～8月5日には中央最低賃金審議会の小委員会で、全国平均15円アップしたが、最低賃金で働くよりも生活保護での収入の方が多い『逆転現象』が一部の都道府県で起きているとする結果も公表されました。

そんな中、インターネット上には『生活保護水準以下でワーキングプアをする必要はない。今すぐ、申請書を持って、役所へ駆け込むのだ！』などと書き込まれるなど、中途半端に働くよりも生活保護を受けた方がよいという雰囲気が出ています。行く末が心配になるとともに、張市の財政破綻を思い出し、まいりました。

速い景気回復が望まれます。



## 園 だ よ り

## 全国社会福祉軟式野球大会

6年連続出場決定！

第28回全国社会福祉軟式野球大会の北陸予選大会が6月28日(月)金沢市民野球場で開催されました。

朝から降り続いた雨も午前中には上がり2試合が行われました。

第一試合では、セーナー苑(富山県第二代表)を9対1で退け、代表決定戦の、めひの野園(富山県第一代表)に5対1で勝利し6年連続7回目の優勝を果たしました。

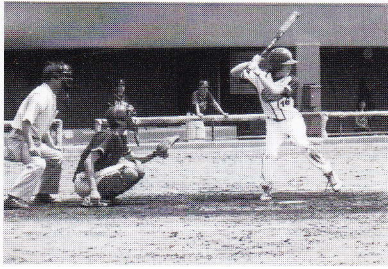
全国大会は予選を勝ち抜いた16チームが9月7日から北海道帯広市で開催され日本一を争います。

## 第一試合

セーナー

苑との試合は、初回に5点を先制し、有利な展開となりました。その後得点を重ね相手を圧倒。長短

6本のヒットで大量9点を奪い5回コールドで勝利しました。



投げては先発投手が相手打線を2安打に抑えた好ゲームでした。  
第二試合

代表決定戦では光道園(福井県)に勝って勢いに乗る、めひの野園との決勝戦です。過去何回も対戦し手の内を知る好敵手です。陽風園は2回相手エラーを誘い、そののちの攻撃で3点を先取。さらに3回、四球で出塁をきっかけに2点を奪いほぼ勝利を決定しました。

先発投手は安定した内容で、相手打線を3安打5三振に抑え投打がかみ合ったナイスゲームでした。

予選大会は、ベンチと選手と応援に来てくれた皆様とが一体となり、つかみ取った勝利でした。これからもチームの結束力をさらに

高め全国大会で頑張ってください。皆様の応援よろしくお願います。



## 施設だより

## 向陽苑

## 運動会

向陽苑では、毎年6月に苑の行事として運動会を行っています。今年も6月16日(水)に赤白のチームに分かれて「頑張れ、頑張れ」と大声援の中、熱戦が繰り上げられました。

プログラムは

・ラジオ体操(準備体操)

・洗濯物リレー

・お玉リレー

・赤白玉入れ

・借り物競争

・パン食い競争

・全員参加のボール送り

赤白玉入れでは、スタートの笛が待ち切れずに、2度のやり直しがありました。リレーでは一生懸命、頑張

て走る姿に、職員は感動しながらも、

内心は転ばないかと冷や冷やしながら応援しました。出



場者の中には今年の10月に、石川県で開催される「ねんりんピック石川2010」に出場できるのでは...と思うほど活躍された方もいらっしゃると思います。最終競技のボール送りでは、車椅子の方も全員参加し大いに盛り上がりました。

今年の運動会は、大接戦の末、赤白同点になり全員での「万歳三唱」で無事に幕を閉じました。

誰の中にも、運動会の思い出があると思

います。子供

の頃、家族

として、会

社や町内会

の運動会。

楽しかった

こと、悔し

かったこと。

苑の運動会

も、その中

の一つとして、楽しい時間だった

と思っただけのような行事にな

ればと思っています。

また来年、より多くの方に参加



していただき、沢山の方の元気な姿と笑顔で一杯になるように「ガンバルぞ!!」



## 施設だより

## 万陽苑

## 海風浴ドライブ

8月11日に海風浴ドライブへ行ってきました。行先は昨年同様に千里浜なぎさドライブウェイを走って帰ってきました。

今年は梅雨明けからずっと猛暑が続いていますが、更に当日は台風4号の影響でフェーン現象となり、気温もこの夏最高となっていました。このため（残念ながら）下車はせず、クーラーの効いたバスの車窓から海を眺めて頂きました。

しかし！ギラギラと照りつける太陽に青い海！渚で遊ぶ若者や子供たちの傍をゆつくりと走り抜けていくうちに、いつしか自分たちの若い頃や子育て等々の思い出話に花が咲き、車内も夏真っ盛りとなっていました。

ただひとつ心配なことが…。利用者の皆さんもビックリしておいででしたが、あんなに広かった千里浜のドライブウェイが、車が交差するのがやっとまでに狭くなっていたのです。段々と浜が侵食されていると聞いていましたが、まさかこれ程とは思いませんでした。

何はともあれ、暑い夏の一時を楽しんで頂けたようです。

## 万陽苑デイサービス

## 保育園児との交流

7月13日、あゆみ保育園年長児の訪問がありました。利用者の方々に伝えると、何かプレゼントがしたいとのこと、ティッシュケース作りをすることに決定。皆さん真剣に縫われ、心が込もったティッシュケースが完成。

当日は元氣一杯の園児。マイクが割れる程の大きな声の自己紹介に「ワー」という歓声。踊りに目を細め手拍子。童謡と一緒にに歌う方。「孫の送り迎えをしとったことを思い出した」「息子が一年生の担任で、こんな子達を教えるがかなと思つた」など。

それぞれの思いがあふれた一時でした。折紙で作った蟬や、てんと虫のプレゼントと小さな手を差し出す園児の手をしっかりと握る方。頭をなで、声をかける方。お礼にと昔話をサプライズで用意して下さった方もおいでました。子供達の「じつちゃんの手あったかかった。シワシワやった」という素直な表現、ほほえましい光景に、センター全体が暖かくとても良い雰囲気になりました。

## 第二万陽苑

## 納涼祭

8月4日、夏恒例の行事「納涼祭」が行われました。

今年は天候にも恵まれ、外で行うことができ、職員も浴衣や法被に着替えて納涼祭がスタートしました。舞台上では、末町青年会、内川婦人会、つつじが丘の皆様、ひよいひよい太鼓、炭坑節、百万石音頭などを披露していただきました。夜店のメニューに、初めて焼きそばとチヂミを盛り合わせ提供させていただきました。好評でした。定番のフライドポテトに加え、安全性を配慮してフランクフルトを棒なしにし、綿がしの割箸をスティック菓子で代用しました。仮装コンテストや職員の余興も楽しんで見ていただき、夜空に打ち上げ花火が咲き、閉会しました。

利用者の皆様には、太鼓の音や音頭、浴衣姿、夜店のメニュー、花火など、そして暑さによって「夏」を体感し、楽しい時間を過ごしていただけたようです。

## 陽風園日誌

5月

理事会・評議員会

(陽風園)

内川たけのこ祭り

(第三)

たけのこ祭り

(ハビリ)

菊川・内川・十一屋・つつじが丘健康づくり教室

花里地区介護教室・出づくりサロン

(地域福祉)

たけのこ尽くし(万陽・木越デイ)

風船バレーボール大会

(万陽)

春の行楽(日帰り)

(三陽)

ハイキング

(あけぼの)

親子遠足

(みずき)

茶話会

(万陽デイ)

日帰り旅行

(向陽)

北陸三県救護施設春季スポーツ大会

(三陽)

大正琴ボランティア・バラ園見学

(木越デイ)

赤トンボグループボランティア

(陽風園)

歯科検診

(みずき)

春の旅行

(第三)

家族会・窓拭きボランティア(第二)

(ハビリ)

野球観戦

(ハビリ)

第10回石川県障害者スポーツ大会

(あけぼの)

(ハビリ・あけぼの)



## 施設だより

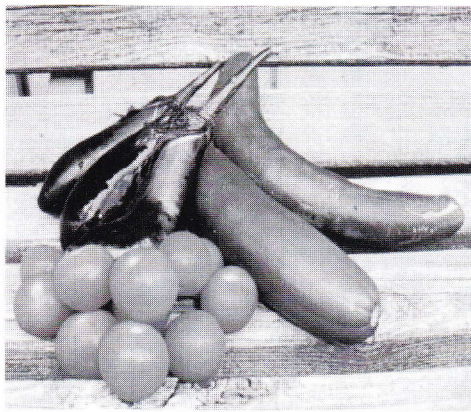
## 第三万陽苑

## 裏庭菜園

当苑の利用者さんの中には、昔農作業をしていたという方も多く、施設暮らしの中で何か新しい刺激をと思い、本年度から畑作を行うことになりました。

5月に入り、裏庭の草を刈り、土を耕し、うねを作り、苗を植え、水をまき、その成長を見守ってきました。

植えた野菜はミニトマト、ナスビ、キュウリと夏に採れるものであり、その成長過程がはつきりと分かるものになりました。何人かの利用者さんは興味を持っていただけで、口々に「水



やらんでいいんか?」「草むしろうか?」と足を止め私たち職員に声をかけてくれます。

6月、梅雨時期に入り、外に出ることもできない状態のため雑草もたくさん生えてしまいましたが、手前のミニトマトに実がなると「早よ外出て草むしつてやらんなん」と言い、日々の成長を楽しんでおいでです。

7月になると、植えた野菜は立派に成長し、収穫できるようになりました。皆さんとても満足そうでした。今後は収穫した野菜をどのように活用していくか考えていきたいと思っています。



## 三陽ホーム

## ポップサーカス招待

6月30日、ポップサーカスの招待を受け、利用者29名と共に観覧させて頂きました。利用者からは「今度サーカス観にいくよ」と、楽しみにしている声が多く聞かれました。

サーカスが始まり、トランポリンや、かわいい犬の芸などを観覧し、驚きや笑いがあり、楽しい時間を過ごすことができました。最も迫力を感じたのは終盤の空中ブランコです。皆さん、上を向いたまま自然と拍手をしていました。

園に帰ってきてから、「すごかったね」「また観にいききたいね」など笑顔で話す姿を多く見ることができました。

毎年色々な招待を頂いており、今年の6月には、歌謡コンサートへの招待も頂きました。本当にありがたく感じております。今後も利用者の方々にとって活気ある生活になるよう支援していきたいと思っています。

6月

菖蒲湯

(各施設)

北陸学院中学校花の日訪問

美容ボランティア

金沢美生会ボランティア

浅田あきら一座希望の会ボランティア

(陽風園)

菊川・十一屋・崎浦・内川・大桑健康づくり教室

花里地区家族介護教室 (地域福祉)

オカリナ演奏ボランティア

(木越デイ)

菖蒲園ドライブ

(万陽)

お父さんと遊ぶう会

(みずき)

ドライブ

(万陽デイ)

菖蒲園・バラ園ドライブ

(第二)

手作りおやつ

(木越デイ)

保育参観

(みずき)

運動会

(向陽)

春の旅

(第二)

自治会総会

(三陽)

プラネタリウム見学

(みずき)

希望者旅行・中村美津子コンサート

(ハビリ)

初夏の親睦ドライブ・法話ボランティア

(木越デイ)

いきいき健康支援 (第三デイ)

(第三デイ)



# 施設だより

## ハビリポート若葉

### 内川墓地公園除草作業

農耕班は、農作業以外に内川墓地公園の除草作業を請け負い、年3回行います。

展望台や墓域、イチヨウ並木など人目に触れる場所が主な担当区域です。

畑の作業と最も違うのは、明確な期限があるところ。特に第1回目はまるでジャンゲル（大げさ？）のような状態を短期間で綺麗に仕上げつつ期限にも間に合わせなければならず、大変です。時には小雨の降るなか雨具を着込んで作業に励み、時にはうだるような暑さのなか座りっ放しで手を動かし続けることもしょっちゅう。

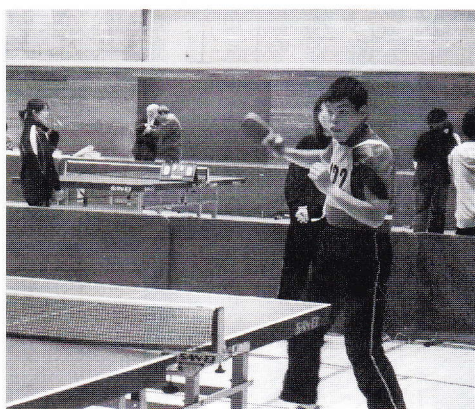
それでも皆さんは職員以上に忍耐強くアグレッシブ。気付けば遙か遠くに、ということもしばしばあります。

当施設では高齢化が進んでおり、農耕班も当然無縁ではなく、メンバーが減少傾向にあることは否めませんが、屋外での活動を愛する人達がこれからも元気に活躍し地域に貢献してくれることを願ってやみません。

## あけぼの作業所

### 障害者スポーツ大会

5月30日に西部緑地公園陸上競技場をメイン会場として、第10回石川県障害者スポーツ大会が行われ、当作業所からは10名の利用者の方が、陸上・卓球・ボウリングの各競技に参加しました。



利用者のなかには「今から楽しみにしとるわ。本番に備えて練習をしないといかんわ」と二か月前から休憩時間に猛特訓を重ねる方や、「別に練習はせんでも大丈夫やわいね」とぶっつけ本番で当日を迎える方など、一人ひとりの取組み方や思いは

異なりましたが、皆さん競技が始まると一様に、普段とは違う活発で生き生きとした表情を見せ、結果へのこだわりよりも競技そのものを楽しんでいるようでした。

さて、今大会では山本雅照さんが輝かしい成績を収め、全国大会への切符を勝ち取ることができました。それ以外の選手たちも、帰りの車内で「すごい頑張ったな」「最後にもう少し狙い通りにピンが倒れてたら勝てとったぞ」などとにぎやかに互いの健闘を称えあう姿は特に印象深く、選手だけでなく私たち職員もスポーツの素晴らしさを改めて実感させられる一日となりました。



7月

金沢市長夏季見舞

園祭式典

模擬店

理事長と女性職員との懇談会

開設記念祭

園祭

未就園児とお父さんの遊ぼう会

ポップサーカス観覧

（向陽・三陽・ハビリ・あけぼの）

菊川・大桑・崎浦・内川・十一屋

つつじが丘健康づくり教室

花里地区家族介護教室（地域福祉）

内川地区花いっぱい運動（ハビリ）

民謡明悦会・円美会民謡ボランティア

（陽風園）

孟蘭盆法要

ゲーム大会

納涼食事会

希望者旅行

全体レクリエーション

夕涼み会・プール遊び

海風浴・海風浴ドライブ

（第二・木越デイ）

作って食べよう会

ランチ会

夏祭り

納涼バーベキュー（三陽・あけぼの）

夏休みチャレンジ教室

納涼祭

（ハビリ）



## 施設だより

## ハビリポート若葉

## 内川墓地公園除草作業

農耕班は、農作業以外に内川墓地公園の除草作業を請け負い、年3回行います。

展望台や墓域、イチヨウ並木など人目に触れる場所が主な担当区域です。

畑の作業と最も違うのは、明確な期限があるところ。特に第1回目はまるでジャンゲル（大げさ？）のような状態を短期間で綺麗に仕上げつつ期限にも間に合わせなければならず、大変です。時には小雨の降るなか雨具を着込んで作業に励み、時にはうだるような暑さのなか座りっ放しで手を動かし続けることもしょっちゅう。

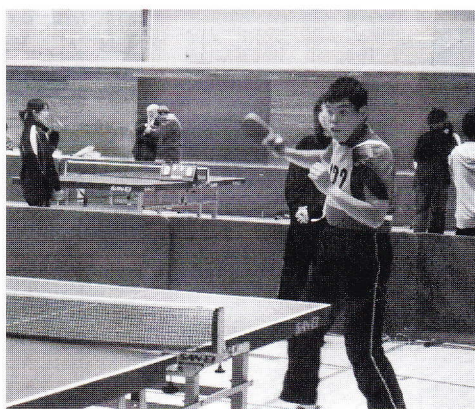
それでも皆さんは職員以上に忍耐強くアグレッシブ。気付けば遙か遠くに、ということもしばしばあります。

当施設では高齢化が進んでおり、農耕班も当然無縁ではなく、メンバーが減少傾向にあることは否めませんが、屋外での活動を愛する人達がこれからも元気に活躍し地域に貢献してくれることを願ってやみません。

## あけぼの作業所

## 障害者スポーツ大会

5月30日に西部緑地公園陸上競技場をメイン会場として、第10回石川県障害者スポーツ大会が行われ、当作業所からは10名の利用者が、陸上・卓球・ボウリングの各競技に参加しました。



利用者のなかには「今から楽しみにしとるわ。本番に備えて練習をしないといかんわ」と二か月前から休憩時間に猛特訓を重ねる方や、「別に練習はせんでも大丈夫やわいね」とぶっつけ本番で当日を迎える方など、一人ひとりの取組み方や思いは

異なりましたが、皆さん競技が始まると一様に、普段とは違う活発で生き生きとした表情を見せ、結果へのこだわりよりも競技そのものを楽しんでいるようでした。

さて、今大会では山本雅照さんが輝かしい成績を収め、全国大会への切符を勝ち取ることができました。それ以外の選手たちも、帰りの車内で「すごい頑張ったぞ」「最後にもう少し狙い通りにピンが倒れてたら勝てとったぞ」などとにぎやかに互いの健闘を称えあう姿は特に印象深く、選手だけでなく私たち職員もスポーツの素晴らしさを改めて実感させられる一日となりました。



7月

金沢市長夏季見舞

園祭式典

模擬店

理事長と女性職員との懇談会

開設記念祭

園祭

未就園児とお父さんの遊ぼう会

ポップサーカス観覧

(向陽・三陽・ハビリ・あけぼの)

菊川・大桑・崎浦・内川・十一屋

つつじが丘健康づくり教室

花里地区家族介護教室 (地域福祉)

内川地区花いっぱい運動 (ハビリ)

民謡明悦会・円美会民謡ボランティア

(陽風園)

孟蘭盆法要

ゲーム大会 (陽風園・第二)

納涼食事も (万陽デイ)

希望者旅行 (三陽)

全体レクリエーション (ハビリ)

夕涼み会・プール遊び (三陽)

海風浴・海風浴ドライブ (みずき)

作って食べよう会 (第二・木越デイ)

ランチ会 (第三デイ)

夏祭り (万陽デイ)

納涼バーベキュー (万陽)

夏休みチャレンジ教室 (あけぼの)

納涼祭 (三陽)

(ハビリ)



## 施設だより

## みずき保育園

わくワーク体験

3日間という短い期間だったのですが、中学二年生11名（内男子1名）が仕事とは、職場とはどのような所なのか学ぶためにみずき保育園を訪れました。

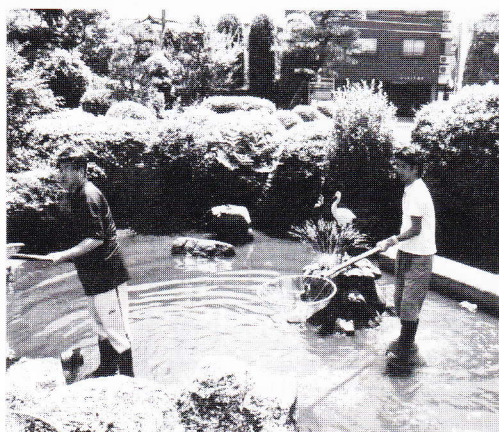
私が担当する4歳児ゆりぐみに入ってきた女子生徒は、とても緊張した様子で、子どもたちへの接し方もぎこちなく関わり方を手探りしているようでした。一緒に遊んだり、絵本や紙芝居など読み聞かせたり食事を共にするうち、少しずつ距離が縮まったようです。子どもたちが「お姉ちゃん！」と親しみをもち始め、もともと仲良くなりたいたいという頃にはお別れの日でした。最終日には中学生たちがお別れとお礼の会を企画し催してくれ、歌や特技など披露してくれました。子ども達の憧れの眼差しがとても印象的でした。

子どもたちと最後の握手を交わし、一人ひとりの顔を見つめ、声をかけるその瞳と声は、3日前とは違い本当に優しく、子供に寄り添った姿でした。保育士という職業の素晴らしさを体感してくれたように感じました。

## 事務局

池掃除

春の大掃除期間に、正面玄関前千寿ヶ池の掃除を行いました。まずは池の中の鯉たちを仮設の水槽に移し、その後池の水を抜き、職員一同で一斉にブラシをかけました。普段利用者の皆さんや職員の心を癒してくれる鯉のためにも池の隅々まで一生懸命磨きました。作業終了後、綺麗になった池に水を入れ仮設の水槽から鯉を慎重に戻しました。作業中いったい何が行われているのかわからなかった鯉たちも綺麗になった池が気持ちいいのか、心持ちいつもより元気に泳いでいるようでした。



## 入園者の変動状況（5月～7月）

施設名	入園者数 (8月1日現在)	入 所	退 所
向陽苑	239	7	8
万陽苑	180	30	24
第二万陽苑	149	21	24
第三万陽苑	148	20	14
三陽ホーム	101	2	2
ハビリポート若葉	205	2	0
あけぼの作業所	41	1	2
みずき保育園	181	3	2
診療所	14	21	22
合 計	1,258	107	98

## 在宅サービス利用状況（5月～7月）

施設名	事業	延人数
万陽苑	ショートステイ	279
	デイサービス	875
	ホームヘルプサービス	396
	配食サービス	389
	移送入浴サービス	10
第二万陽苑	ショートステイ	387
	ホームヘルプサービス	338
第三万陽苑	ショートステイ	883
	デイサービス	595
	グループホーム知的障害者共同生活援助事業	1,288
ハビリポート若葉	ショートステイ	33
	日中一時支援	3
	グループホーム知的障害者共同生活援助事業	1,288
在宅事業推進局	陽風園生活支援センター	929
	お年寄り地域福祉支援センターみつちしんまち	予防プラン 介護相談 1,125
	木越デイサービスセンター	692
	木越生活支援センター	862
	木越生活支援センター	103



## 感謝録

5月～7月

(順不同・敬称略)

## ボランティア

赤トンボグループ

(金沢市)

キリスト教会

(金沢市)

PL金沢南教会

(金沢市)

金沢美生会

(金沢市)

浅田あきら一座希望の会

(金沢市)

内川小中学校

(金沢市)

民謡明悦会・円美会民謡

(金沢市)

カンタビール・かすみ

(金沢市)

あゆみ保育園

(金沢市)

木越フラダンスサークル

(金沢市)

北陸学院中学校

(金沢市)

石川県美容業環境衛生同業組合

(金沢市)

第二万陽苑家族会

(金沢市)

神社 由美 (金沢市) 山田富二子 (金沢市)

中村由紀子 (金沢市) 吉川 琴美 (金沢市)

中本 章子 (金沢市) 山崎 琢司 (金沢市)

小林真智子 (金沢市)

崎浦地区町会連合会

(金沢市)

## 寄附金の部

中田 進 (白山市) 中村 清 (北海道)

平野 孝司 (金沢市) 東藤 登 (野々市町)

村澤 勇二 (金沢市) 庄田 邦彦 (能美市)

小野 陽子 (金沢市) 米田かずえ (能美市)

浅田

## 寄附物品の部

フードバンクいしかわ

(金沢市)

はなの木薬局

(金沢市)

石川県金沢城 兼六園管理事務所

(金沢市)

(株)サンライン

(金沢市)

金沢市企業局

(金沢市)

(株)鶴商

(金沢市)

夏嶋 正征 (金沢市)

その他匿名 二十八名

ご厚意ありがとうございました。

